

でんぎの礎

—振り返れば未来が見える—

さんきよざわはつでんしょ

三居沢発電所

すいりょくはつでんはつしょう ち

～水力発電発祥の地～

場所

こと

Sankyozawa Power Plant



①

仙台市の三居沢は1888年（明治21年）に宮城紡績会社が日本初の水力発電を行った地です。紡績機械の動力用として設置していた国産40馬力の水車を用いて、三吉電機工場製の5kW直流発電機を運転し、工場の夜間作業用に白熱電灯とアーク灯を点灯しました。電気事業用で日本初の水力発電所として知られる京都市営の蹴上発電所が供給を開始する3年前に、自家用としての水力発電に成功したのです。その後、大型の水車・発電機の導入や、東北地方初となる電気供給事業の開始、仙台市電気部等への事業承継を経て、1951年より東北電力株式会社が所有する現役の水力発電所です。

1924年製の発電機と1907年製の水車はいずれも一部改修を加えながら稼働を続け、現在は、出力1000kWの発電所として遠隔監視・制御により運転されています。

隣接する三居沢電気百年館では、運転開始当時の5kW直流発電機のレプリカ等を展示しているほか、稼働中の発電設備をガラス越しに見学できます。なお、1902年には余剰電力で電気炉を利用し、日本初のカーバイド工業生産にも成功しており、三居沢は電気化学工業の分野においても重要な地とされています。

☆顕彰先 : 東北電力株式会社

☆展示場所 : 〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻三居沢16
(三居沢電気百年館)

☆ホームページ : <http://www.tohoku-epco.co.jp/pr/sankyozawa/index.html>

☆アクセス（最寄駅）: JR仙台駅より市営バス「三居沢交通公園前」下車徒歩3分またはJR仙台駅より車で15分



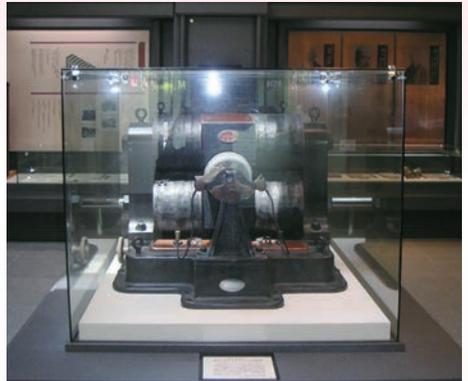
②



③



④



⑤

<写真提供：東北電力株式会社①③④⑤>

① 三居沢発電所

② 1900年頃の宮城紡績電灯株式会社の発電用水路設備
『電気之友』第105号 明治33年4月15日より

③ 現在も運転を続ける1924年製発電機と1907年製水車
手前：ドイツ・シーメンス社製 横軸回転界磁型三相交流同期発電機
奥：ドイツ・フォイト社製 横軸二輪単流前口双子フランス水車

④ 三居沢電気百年館

⑤ 1888年の運転開始当時の三吉電機工場製5kW直流発電機（レプリカ）